第2回 庭野平和賞贈呈式における記念講演(要旨)

人類の最優先課題――核軍縮

ホーマー・A・ジャック博士

今日、核軍縮による核兵器の廃絶は、人類が早急に取り 組まなければならない唯一の課題となっています。世界共 通の願いである「自由」と「正義」そして「民主主義」や 「社会主義」といったイデオロギーに根差した期待もこれ に比べれば二次的な目標にすぎません。何よりも、まず、 1945年の広島と長崎の悲劇が他の都市で繰り返されること を阻止しなければならないのです。

核軍縮

核時代が到来して約40年経ちますが、その間核戦争は起こりませんでした。果たして核の抑止力が核戦争の勃発を防いだのでしょうか? そして、核の抑止力を批判した人々は誤っていたのでしょうか? 様々な戦略ドクトリンが打ち出されましたが、長崎以来今日まで核兵器が使用されなかったのは、あるいは、私たちが幸運だったからなのかもしれません。現在、5つ、もしかしたら8カ国が50,000に達する戦略・戦術核兵器を保有しています。私たちは、これまでと同様、これからも幸運を期待できるのでしょうか? 意図的に、あるいは誤解によって、事故、テロリスト活動によって核兵器が爆発する可能性が、どうも高いように思われます。核保有国の指導者たちが、あたかも核戦争を戦って勝つことができるかのような発言を時折していますが、これでは核戦争の危険がいよいよ高まるばかりです。

核軍縮は、核兵器による大量殺戮の悲劇を防止するただひとつの方法です。1978年、国連軍縮特別総会で満場一致をもって採択された最終文書でこのことを明白に述べています。今や、人類は軍拡競争に終止符を打って軍縮に取り組むか、あるいは滅亡への道を辿るか、二者択一の選択を迫られています。だからこそ、軍縮は単に国連だけでなく、すべての国家、すべての団体、すべての宗教、そしてすべての人々にとって緊急の課題なのです。



Commemorative Address by Dr. Homer A. Jack in the Presentation Ceremony (main purport)

There is only one priority for humanity today. That is the abolition of nuclear weapons through nuclear disarmament. Such universal goals as "freedom" or "justice," or such ideological hopes as "democracy" or "socialism," these are quite secondary. The prime goal must be to stop turning every city everywhere into another 1945 Hiroshima or Nagasaki.

Nuclear Disarmament

The nuclear age has not produced a nuclear war for almost four decades. Has not nuclear deterrence, despite its critics, prevented nuclear war? Perhaps luck has so far prevented any nuclear detonation since Nagasaki as much as any strategic doctrine. Yet what of the future, with 50,000 strategic and tactical nuclear weapons in the stockpiles of five or perhaps eight States? The chan-

核軍縮は一部の人々が関心を寄せているだけで、世界共通の問題ではないと主張する人々がいます。これは東西両陣営あるいは「北側」の国々の問題であって、少なくとも「南側」の国々には無関係だというのです。また、「第三世界」の国々は、核戦争の脅威におびえる「第一世界」や「第二世界」の国々と立場が異なるので、開発などの課題を最優先させるべきだと説く人々もいます。しかし、私は、平和と軍縮は、単なる東西両陣営だけの問題でもなければ、北側の国々の贅沢な関心事でもなく万国共通の課題であることを強調したいのです。平和と軍縮の実現は、「南側諸国」にも避けて通れない問題なのです(皆様もご存じのように、日本は、「西側諸国」の一員と見做されていますが、これは世界の地図を政治の色分けによって塗り変えようとする「こじつけ」にすぎません)。

4項目の処方箋

核軍縮を最優先することを提案しました。それでは、すべての物ごとが悪い方向へ進んでいるように思われる今日の暗澹たる政治情勢において核軍縮はどのような意味を持っているのでしょうか。核兵器の保有数は長年にわたり増大する一方です。そして、これを平和への道へ逆転させるようなよい知らせは、まったく聞かれません。そこで、核軍拡の悪循環を断ち切るための4項目の処方箋をご紹介いたしましょう。

まず第1に、すべての新型核兵器の開発、実験、配備をまずアメリカとソ連が、そして他のすべての国家が直ちに凍結することです。核兵器やその運搬システムをどの地域にもこれ以上設置してはならないのです。核軍拡の凍結は、いわゆる「国民的」査察手段によって検証することができます。他の核保有国が核凍結の期待に応えてくれることを期待して、どの核保有国がこの核軍縮のプロセスを開始してもよいのです。

ces of a nuclear detonation by calculation or miscalculation, by accident or terrorism, appears high. The possibility escalates when the leaders of one nuclear State intermittently declare that it can fight and win a nuclear war.

Nuclear disarmament is the only method to prevent the real possibility of nuclear holocaust. The Final Document of the First United Nations Special Session on Disarmament, adopted unanimously in 1978, made this clear. Humanity is confronted with a choice: "We must halt the arms race and proceed to disarmament or face annihiliation." Thus disarmament must be the priority, not alone of the United Nations, but of all States, all organizations, all religions, and all peoples.

Some allege that this concern for nuclear disarmament is provincial, an East/West or "Northern" preoccupation, but not a universal one, at least not "Southern." Some suggest that the so-called "Third World" has priorities—such as development—different from those of the "First" or "Second" worlds, both of the latter being more fearful of the consequences of nuclear war. I assert that peace and disarmament are not East/West or Northern luxuries. They are equally a necessity in the "South". (Japan, as you know, is considered by some quirk of political geography to be a "Western" State.)

Four-Point Prescription

Having suggested the priority of nuclear disarmament, let me indicate what this means in the current bleak political atmosphere where everything seems to be going down hill. There has been no good news for many years to reverse the trend of increasing nuclear stockpiles. Here is a four-point prescription of next steps to begin to get out of the nuclear arms spiral.

First, the development, testing, and deployment of all new nuclear weapons should immediately be frozen by all States, initially by the U.S.A. and the U.S.S.R. This means that no additional nuclear weapons and their delivery systems should be installed anywhere. Such a

第2に、すべての環境における核兵器の実験を条約によって禁止することです(部分的核実験禁止条約は地下核実験を禁じておらず、すべての国家が調印しているわけでもありません)。全面的核実験禁止条約が成立し、調印・批准が実現するまで、核保有5カ国のうちどの国が直ちに実験を中止してもよいのです。アメリカでは2人の大統領選挙立候補者が、当選の暁には、6カ月にわたり地下核実験を停止して、ソ連に同じ措置をもってこれに応えるよう呼びかけることを誓約しています。

第3に、核兵器の最初の行使だけでなく、核兵器の行使を一切条約によって禁止し、核兵器の使用を人類に対する犯罪と規定することです。国連でのこの決議が採決に付されたとき、国連加盟国の大多数が賛成票を投じました。しかし、核兵器の最初と二番目の行使の犠牲となった国はこれを支持しなかったと言われています。いずれにせよ、決議だけでは十分でありません。規約もしくは条約が必要です。

4番目に、これが最後になりますが、できるだけ速やかに、そして1980年代の終わりまでには確実に、すべての核保有国の兵器庫から核兵器を、段階的になくしていかなければなりません。これにはすでにその存在が確認されているもの、また、否認されているもの、すべての核兵器が含まれます。軍備を目的とした核の研究開発、生産、そして配備がこれにより終焉を告げることになります。

ここに述べたようなステップが必要なことは、多くの国がすでに認めているかもしれません。だが、実行されるという保証はどこにもないのです。そこで一方的核軍縮一ユニラテラリズム一が有効な手段となります。故フルシチョフ首相が言ったように「相互に模範を示し合う」という考え方でもいいし、「国民的イニシアチブ」という名目でもいいのです。軍拡競争は、当事国の一方的な軍備増強により拡大しました。ですから、軍縮も、条約の枠組とは別のイ

nuclear freeze can be verified by so-called "national" means of inspection. Also any nuclear State might begin this process, hoping that the others might reciprocate.

Second, nuclear weapons tests in all environments should be prohibited by treaty. (The partial test-ban treaty does not prohibit underground tests and it has not been universally signed.) Any of the five nuclear weapon States might immediately stop such tests until a comprehensive test-ban treaty could be signed and ratified. Two candidates for the presidency of the U.S.A. have pledged, if elected, to initiate a six-month moratorium on underground testing to challenge the Soviet Union to respond in Kind.

Third, the use—and not just the first use—of nuclear weapons should be prohibited by treaty, and their use made a crime against humanity. It is sad that the country which was the first and second victim of nuclear weapons did not vote in favor of this U.N. resolution, although a majority of U.N. member States did so. Yet more than a resolution is needed; there must be a convention or treaty.

Fourth and last, nuclear weapons should be phased out of the arsenals of all nuclear weapon States—those acknowledged and those covert—as soon as possible, certainly by the end of this decade. The whole world





ニシアチブによって達成できるかもしれません。最近採択された国連決議にも謳われているように、核兵器の凍結は一方的に始めてもよいのです。核保有5カ国のうち、勇気をもって核軍縮への道を踏みだすのは果たしてどの国でしょうか。

宗教が果たす特別な役割

キリスト教の教会、イスラム教の礼拝党 仏教の寺院 その他の宗教団体は核軍縮に向けて特別な役割を果たすこ とができます。核兵器に関する倫理的原則の確立が世界の 偉大な宗教によってますます強く叫ばれるようになりまし た。これらの宣言に盛られた理念を、全国的かつ地域的レ ベルで実践していかなければなりません。特に現代の核の 時代にあっては、宗教者の認識、あえていえば、偏見を変 えなければなりません。例えば、米国とソ連の間で、あら ゆる面にわたって存在してきた古い対立関係―そして新 しい対立関係一を見直し、癒やすことが必要です。宗教者 は、核実験の停止を実現するために、これまでの姿勢を改 めることが必要でないかどうか自らに問い質したいと思い ます。また、ガンジーが提唱した非暴力抵抗主義によって、 核兵器の配備を阻止できないか検討してみたいと思います。 さらに、無謀な核軍核を主張し、実行している政府の政策 をどうしたら改めることができるか考えたいと思います。 宗教者は、政府が国連で核軍縮を支持したからといって、

must become a nuclear free zone. This means the end to nuclear research and development for weapons purposes, the end to production, and the end to deployment.

These steps may be the widely-acknowledged goals of many States, but there is no guarantee that they will be implemented. Here is where unilateralism can be useful, whether under the name of "mutual" (that was Mr. Khrushchev's term) or "national initiatives." The arms race has proliferated by unilateral steps and it might be lessened also by initiative independent of treaties. A nuclear weapons freeze could be unilaterally begun as a recent U.N. resolution recommends. Which of the five nuclear weapon States will have the courage to start this necessary process?

Special Religious Role

Churches, mosques, temples, and other religious institutions have a special role here. The ethical principles about nuclear weapons, increasingly promulgated by great world religions, and their denominations, must be implemented on national and local levels. In the first instance this means that the perceptions, indeed the prejudices, of members of religious institutions must be changed, especially in this nuclear age. Old-and new -antagonisms must be examined and healed, such as those on every level between the U.S.A. and the U.S.S.R. Members of religious organizations must be asked to consider whether changes of vocation could help bring a halt to the testing of nuclear weapons. Members might consider whether the use of Gandhian non-violent resistance might stop the deployment of nuclear weapons. Members might ponder how to change governments which voice or demonstrate reckless nuclear policies. Members of religions might not countenance their governments merely voting for nuclear disarmament at the U.N. They might demand that their governments scrap nuclear stockpiles and take great risks for nuclear peace as all peoples are forced to take great risks for dubious deterrence.

それで満足していてよいのでしょうか。あやふやな核抑止力の理論によってすべての人々が生命の危険を負わされています。それよりも、現在保有している核兵器を廃絶する 平和への危険負担を政府に要求したらいかがでしょうか。

平和活動

すべての宗教の歴史には、平和をないがしろにして、戦争を引き起こし、戦争を称賛した悲しむべき記録が残されています。いにしえの釈尊、近年のガンジーなどによって崇高な理念が示されているにもかかわらず、ナショナリズムに基づいた高慢、横柄、尊大がともすると宗教者の心を支配しています。宗教団体は常に自らを省みる姿勢が欠けていました。あまりにも多くの宗教指導者が、倫理的欠陥には目をつぶって、「民主主義」、「社会主義」、その他の国家体制に容易に迎合し、頑迷にこれを擁護しています。

私は、本日、庭野日敬師より平和賞を授与されることに深い感銘を覚えます。約20年にわたり、庭野師と共に様々な国で平和と軍縮を目指して仕事をしてまいりました。現代の偉大な仏教者庭野師は、釈尊がかつてアジアの地を巡り歩かれたように、平和のため世界中の国々を訪ねておられます。

私は、前回のブラジルのヘルダー・ペソア・カマラ大司 教に次いで、この賞を授けられることをたいへん名誉に思 います。カマラ大司教の偉大な功績に比べれば、まだ微力 ですが、私なりに最善を尽くしたいと存じます。

庭野師のお言葉にもあるように「教団の枠をこえた宗教協力の理念のもとに世界平和を推進」したことにより庭野平和賞が私に与えられるとのことですが、私は謙虚な気持と同時に焦燥感をもって、この賞をお受けいたします。なぜなら、核兵器が人類を絶滅する前にこれらの死の装置を廃絶しなければならず、この仕事を成し遂げるために私たちに残されている時間はもうわずかしかないからです。

Peace Activity

All religions have had the sorry record through history of making wars, even blessing them, rather than demanding peace. There have been a few notable exceptions, including such exemplars as the Buddha in ancient times and Mohandas Gandhi in our time. Yet hubris—pride and arrogance—based on nationalism even in religious communities is overwhelming. Self-criticism by religious institutions is always in short supply. Too many religious leaders easily endorse and stubbornly defend their nation's "democracy" or their nation's "socialism," when both of these systems, and others, are ethically flawed.

I am especially touched that I am receiving an award bearing the name of President Nikkyo Niwano, I have worked with President Niwano on issues of peace and disarmament for almost two decades on several continents. This great modern Buddhist roams the whole world for peace as the Buddha moved about Asia.

Likewise I am honored to be the recipient of a prize previously awarded to Archbishop Helder Pessoa Camara of Brazil. I cannot walk in his footsteps, but I shall try.

Thus I accept the Niwano Peace Prize for promoting "world peace through inter-religious cooperation." I do so with humility. But also I do so with impatience. We have scarcely time to finish the task of abolishing nuclear weapons before these devices of death will soon abolish us.